



日本聖書神学校 学 報

Japan Biblical Theological Seminary

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16 ・ ☎ 03-3951-1101 ~ 2 ・ Email: jbts@jbts.ac.jp

2021年4月1日

第166号

発行人 神保 望



【巻頭言】

聴くことの発信

教授 柳下明子

今号の内容

巻頭言	1
第73回卒業生	2
2021年度新入生	2
教職員の異動	2
『聖書と神学』投稿募集	2
校長二期目を迎えて	3
総務部長としての2021年度への展望	3
学事報告・個人消息	4

新しい年度を迎えようとしています。去る2020年度は神学校も学事の開始早々、世界中の諸教会同様、新型コロナウイルス感染症の影響の元に置かれました。神学校では緊急事態宣言の発出に伴い、前期の講義を急遽オンラインでの実施に変更し、多くの行事を中止するなどの対応を余儀なくされました。こうした変更にもかかわらず講師の先生方や受講生の皆様のご協力とご理解によってなんとか学びを維持することができたことは神学校にとって大きな糧となりました。双方向性のコミュニケーションが成立するWeb上のクラスに講師や受講生がそれぞれの場所から繋がるというオンライン学習のあり方は、講師や受講生の居住地に限定されないクラスの成立の可能性を開いてくれるものです。その意味で、外的な要因によりやむを得ず進められた技術革新によって神学校は未来の教育の姿に新しいイメージを与えられました。しかし可能性と同時に、オンラインによるコミュニケーションの限界も教授会や学生には明確に認識され、対面によってしか成立しない神学教育の分野が存在することも確認されました。こうした経験は、緊急事態宣言下で礼拝堂に集まったの礼拝を抑制し、礼拝のライブ配信などの開始を2020年度に経験された教会につらなる方々にとっても同様のことであったでしょう。

そのことは、神学教育の中で有効なツールを得ることと教育において本質的に重要なことを見極める機会となりました。当面の授業をどのように確保するか、また行事の執行がどのように可能になるのかという目の前の課題の実施のみに集中してきた一年を過ぎて、その評価をするときが来ています。

新型コロナウイルス感染症対策の名の下に、場当たりの「自粛要請」が展開され続けた結果、2020年を経験した日本の社会では、居住地や職を失う人やこの先のいのちの歩みに展望を見いだせなくなる人が加速度的に増えています。そんな中で、教会は、そしてそこに遣わされる人びとを送り出す神学校は、どのようなものとしてあるのかが一層問われているものでもあります。

変わる世界に、希望の福音をどのように伝えてゆくのか。ある記事はそのことに示唆を与えます。「『強い人』の特権排して、語れる場を」（朝日新聞2021年3月2日朝刊）では文化人類学者石井美保京都大学准教授が、ガーナでのフィールドワークで喪失を体験した女性が自分の経験を語る場面に立ち会う経験から「時間をかけて聞くこと」「『容易にわからないこと』を大切にすること」が、「特権的な語りを拝聴するというこれまでのモードとは違う、新しい語り方や聞き方のモード」を生んでいくといい、既にそのような動きは生じているとして2011年のウォール街でのオキュパイ運動を例に取ります。「人々はマイクを使わず聴衆の復唱によって声を届けた。しかも語り手の意見に賛同しなければ復唱しない。スピーチが聞き手との間に対話を生む、実験的な試み」と評価してこう結んでいます。「重要なのは、語りの場を多元化し、民主化することを通して、いかに公共空間を変えてゆくのか。考えを深めてゆく時と思います」

聖書の伝える福音は、虚無によって支配されているこの世界に、新しいいのちの希望をもたらします。「被造物は虚無に服していますが・・・同時に希望も持っています」（ロマ8:20）「わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです」（ロマ8:25）

旧来のシステムが急速に崩壊し、不信に動かされて人が互いを疎外し合ってゆく時、福音は人を人として生かします。もし教会に人が来ないのだとすれば、教会が持ってきた語り人が人に届かないものになっており、自己目的的一元的な語りが礼拝で支配的になってしまっているということです。

礼拝の場が開かれたものになるためには対話が大切になってゆく、そしてその対話は時間をかけて聴くことと容易にわからないことに耐え続けて聴くことの上に成り立つ営みです。

ポスト・コロナと呼ばれることになる時代に改めて聖書に「聴くこと」と遣わされた先の人と教会と地域に「聴くこと」を、神学教育の中で大切にしていきたいと思います。

2020年度 第73回卒業生

①卒業論文 ②卒業時の所属教会 ③実習教会 ④赴任教会



園田久遠 そのだ くおん

- ①虹と共に
～現代を生きるものたちの福音
- ②和泉多摩川教会
- ③和泉多摩川教会
- ④和泉多摩川教会 担任



山野空 やまの くう

- ①アモス書における“裁き”
- ②下館教会
- ③下館教会
- ④田園江田教会 担任



西川優子 にしかわ ゆうこ

- ①由木康の礼拝学
—特に『基督教礼拝学序説』と『礼拝学概論』の比較と検討から
- ②本多記念教会
- ③本多記念教会
- ④市川教会 担任



西川良三 にしかわ りょうぞう

- ①内村鑑三におけるキリスト教の日本での「土着化」をめぐる思想
- ②本多記念教会
- ③本多記念教会
- ④市川教会 主任



2021年度 新入生一覧

【正科生】

- 1. 久保彩奈 早稲田教会
- 2. 柴田朋子 元住吉教会
- 3. 花島 泉 東京シオン教会
- 4. 東出英幸 在日本南プレスビテリアンミッション大阪チャーチ
- 5. 堀尾 隆 小金井教会

【聴講生】

- 1. 内田弥生 カンバーランド長老キリスト教会あさひ教会
- 2. 海野 博 東戸塚教会
- 3. 大島泰江 千葉教会
- 4. 大森意索 千代田教会
- 5. 齋藤健一郎 愛泉教会
- 6. ニルソン冬子 日本聖公会聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂
- 7. 松脇達朗 日本キリスト教会蒲田御園教会
- 8. 水沼和子 安藤記念教会

教職員の異動

就 任

- 《教 員》
- 相田南穂子（講師） 2021年4月1日
 - 飯郷友康（講師） 2021年4月1日
 - 中村邦介（講師） 2021年4月1日
 - 山本隆久（講師） 2021年4月1日
 - 藤崎義宣（スクールカウンセラー） 2021年4月1日

退 任

- 《教 員》
- 木田みな子（講師） 2021年3月31日
- 《職 員》
- 西川 穂（嘱託職員） 2021年3月31日

キリスト教研究所紀要『聖書と神学』第32号 投稿募集

本神学校キリスト教研究所の紀要『聖書と神学』第32号は、2021年9月に発行予定です。特集は「21世紀の聖書」です。近年新しい日本語訳聖書の刊行が続きました。その翻訳の検討と評価という重要な課題の他、新しい時代の聖書研究のあり方や社会に向けての聖書の提示の仕方など、多様な議論が考えられます。特集論文以外の自由研究論文、書評、研究ノート、エッセイの投稿をお待ちしております。締め切りは5月末日です。投稿方法の詳細については、研究所のアドレス (institute@jbs.ac.jp) にご請求ください。また、投稿を予定された方は早い段階で計画についてお知らせください。

『聖書と神学』は研究所の所員・会員に配布されます。本校卒業生はどなたも会員となります。卒業生以外も会員2名の推薦を得て入会できます。会費は年1000円です。入会申し込みはメール・電話・ファックスで神学校総務部まで。

(所長 荒瀬牧彦)

校長二期目を迎えて

校長 神保 望

後援会をはじめとする諸教会の皆様、理事・評議員そして同窓会の皆様におかれましては、日頃より日本聖書神学校の伝道者養成の働きを覚え祈りお支え下さいますことを心より感謝申し上げます。各地に頻発する大きな地震に加えコロナ禍と言う未曾有の危機にあっては、教会並びにキリスト者に与えられた福音宣教の使命は少しも衰えることなく、むしろ福音を必要とする人々に「宣べ伝えること」の意味が日々増し加えられています。主なる神からの召命にお応えし献身の志を立てて入学された神学生諸氏は、漠然とした社会不安が蔓延する中で様々な制約を受けつつも、自らが福音の希望に立ち続けることによって献身の志が衰えるどころか却って心が燃えています(ルカ24:32)。世の全ての罪をその身に担い十字架上で死なれたイエス・キリストは、陰府に降られた後に復活されたことによって意気消沈していた

弟子たちと再会し励まして下さいましたし、主なる神も聖霊を降らせたことによって、弟子たちを福音宣教者として立ち上がらせています。このようにイエス・キリストの宣教の使命を受け継いだ者は、「折が良くても悪くても」(テモテ二4:2)福音を宣べ伝える者へと変えられて行くのです。

日本聖書神学校教授・校長として2017年4月に就任して以来四年が経過しました。これまでの校長としての歩みは遅々としたものであったかも知れません。しかし先立ち給うイエス・キリストと数限りない方々のお支えとによって漸く歩み通せたように思います。献身者を送り出して下さる諸教会の皆様、学校運営の責任を担って下さる理事・評議員の皆様、後援会活動をもって神学生の学びをお支え下さる方々、福音宣教の最前線に立ち御言葉を宣べ伝えておられる同窓・会友の皆様、神学教育のために心を砕き熱心に

教鞭を執って下さる教授をはじめとする教員の皆様、そして学校運営の実務を日々担って下さる職員の皆様のお働きの全てが主において一つに結ばれることによって、神学生諸氏の充実した神学の学びと主の証人としての希望ある生活とが力強く支えられて来たことを確信します。

2021年1月25日開催の理事会において、校長としての二期目が再任されました。豊かな恵みを日々実感しつつ感謝の思いに支えられて過ごした四年間を礎とする二期目においては、伝道者養成としての神学教育の現場に立つ神学生諸氏と、諸教会、理事会・評議員会、後援会、同窓会、教授会、総務部・教務部・図書館とを繋ぐ「結束環」としての役割りを、希望をもってイエス・キリストの御後に従いつつ明確に果たして行きたいと願っています。宜しく願い申し上げます。

総務部長としての2021年度への展望

総務部長 西谷 謙

初めに、皆様のお祈りとお支えにより、コロナ禍にあっても2020年度を終えられたことに心から感謝いたします。

私は、2018年の4月から3年契約で総務部長を仰せつかりました。教会の一信徒であり、製薬会社にずっと勤務してきて定年後も契約社員として働いてきました。つまり、そこで信仰を深めるといような環境には程遠いところを歩んできたのです。ただ、教会での交わり、そして教会役員としての務めが私の信仰生活をつなぎとめていただいていたと思います。

そんな私が総務部長という大役を仰せつかり、この3年間テアトルアカデミーの退去、耐震補強工事、新しいテナントの入居という目まぐるしい出来事がありましたが、教職の先生方や職員の方々の助け、お支えにより何とか終えることができました。そして、新たに理事会から

の要望により契約を更新することになりました。ただし、私自身70歳を超えたこともあり、1年間の契約にしても、その間により若い総務部長を探していただくよう理事会にお願いしています。

今は最後になるかもしれない2021年度の1年間をどのような展望で進めようかと考える日々でもあります。個人的には後に総務部長の職に就く方が戸惑わなくて済むようにしていくことが肝要かと思っています。そして、前任の土橋総務部長から託されたことかもしれないませんが、学校に数多くある諸規則を見直して現在の状況に合致したものに改正していくことだと思っています。

過去の3年間心に思いながらできなかったことですが、召命を受け献身して日本聖書神学校に入学された神学生

が、より良い環境で学びながら伝道者の道を目指すために必要な改善点がありましたら取り組んでいきたいと考えています。

それには何よりも全国におられる同窓の先生方及び諸教会の励ましと、日本聖書神学校に対する皆様のご理解とご協力、お支えがあつての事です。今後ともよろしく願いいたします。

後援会献金によって 神学校は支えられています

日本聖書神学校の牧師養成の業は、全国の諸教会と多くの信徒の方々の献金によって大きなサポートをいただいています。その献金は将来教会に仕える神学生の奨学金となつて、神学生の勉学を支えています。日本の宣教のための業にどうかお祈りとお支えを賜りたくお願い申し上げます。

【後援会献金口座】

郵便振替：00110-3-6435

加入者名：学校法人聖経学園日本聖書神学校

Diary 学事報告

2020年9月～2021年3月

- 9月4日 教授会(第5回)
- 9月7日 後期始業礼拝、理事会(第260回)
- 9月10日 学報(164号)発行
- 9月14日 実習教会牧師との懇談会
- 9月16日 カリキュラム対話集会
- 9月20～21日 第9回献身志願者の集い テーマ「主がお入り用なのです、開会礼拝「恐れず、ただ信じなさい」神保 望校長、献身の喜び：土肥研一牧師(目白町教会) 西川優子神学生、後援会から村上信男役員、菊池公平会長の話、グループ懇談など
- 10月5日 教授会(第6回)
- 10月6日 第1回オープンキャンパス
- 10月6～9日 教務部長代行面接
- 10月11日 神学校日
- 10月12日 理事会(第251回)
- 10月30～31日 全校修養会(神学校)、テーマ「感染症と教会」、講師戒能信生牧師(本校講師・千代田教会)
- 11月5日 理事会(第262回)
- 11月6日 教授会(第7回)、秋期入学試験(合格者：正科生1名)
- 11月9日 図書館運用委員会
- 11月9～13日 授業体験週間
- 11月16日 評議員会(第216回)
- 11月20日 同窓会役員会
- 12月3日 学生自治会臨時総会
- 12月4日 教授会(第8回)、クリスマス礼拝(説教「裸でもいいんだよ、クリスマス」三宅宣幸牧師(日本基督教団神奈川教区総会議長、元住吉教会牧師))
- 1月8日 新年始業礼拝
- 1月11日 第2回オープンキャンパス
- 1月13日 学生自治会学術講演会
- 1月20～22日 後期補講日
- 1月25日 理事会(263回)
- 1月25～26日 後期試験日
- 1月26日 教授会(第9回)、卒業論文講評会
- 1月29日 卒業論文発表会
- 2月1日 2年生と教授会との面談
- 2月2日 献身志願者の集い準備会
- 2月8日 同窓会役員会、同窓会役員と卒業予定者との懇談会、後援会役員会
- 2月12日 学生自治会総会
- 2月15日 理事会(第264回)
- 2月18～19日 春期入学試験(合格者：正科生4名、聴講生8名)
- 3月1日 献身志願者の集い準備会
- 3月8日 教授会(第11回)、卒業礼拝(説教「声をあげよ、恐れるな」中村征一郎牧師(東金教会牧師・28期))
- 3月9～10日 教務部長代行面接
- 3月15日 新入生オリエンテーション、評議員会(第217回)
- 3月19日 同窓会役員会

個人消息

■ 神保 望 校長

- 9月6日 武蔵野教会を訪問(年複数回)
- 9月29日 東京教区・常置委員会出席(年複数回)
- 10月9日 日本神学教育連合会(JATE)出席(リモート)
- 12月13日 甲府中央教会礼拝で説教
- 1月17日 目白教会今野瑛教師按手礼式出席
- 2月26日 学生寮・卒業生を送る会出席
- 3月5日 東京教区北支区連合祈祷会(東日本大震災・東京電力福島第一原発事故を覚えて)で奨励(リモート)
- 3月19日 NCC 教育部主催エキュメニズム研修会出席(リモート)
- 教授として授業を担当し、寮監としての業務を行い、また校長として理事会、評議員会、教授会、人事委員会、図書館運用委員会、後援会役員会、献身志願者準備委員会に出席
- その他適宜面接・人事相談・学生面接を担当して教務執行

■ 荒瀬 牧彦 教授

- 10月18日 カンバーランド長老田園教会説教
- 10月20日 日本賛美歌学会運営委員会
- 11月13日 捜真女学校高校1年修養会講演
- 11月22日 カンバーランド長老東小金井教会伝道礼拝説教
- 11月28日 池袋朝禱会説教
- 1月11日 『奏楽者のためのオンラインすたーじゅ』講義「教会暦という智慧に

学ぶ

- 2月19日 『礼拝と音楽』編集委員会
- 3月6日 社会福祉法人ナオミの会評議員会
- 3月9日 『礼拝と音楽』企画委員会
- 12月までカンバーランド長老あさひ教会協力牧師として月2回説教、1月より同教会代務者として牧会
- 月一回、四谷新生教会で説教
- 執筆 共著：『新版・教会暦による説教集 クリスマスへの旅路』、編：同『イースターへの旅路』、共著『関西学院神学部ブックレット13 音楽と宣教と教会』、雑誌『説教黙想アレテア』110号(十戒)、111号(主の祈り)、『礼拝と音楽』187号(「ヒムプレーヤーもう工夫」)
- その他、カンバーランド長老日本中会運営委員・教職委員長・礼拝音楽小委員長、日本聖書神学校理事・評議員・同窓会役員、NPO法人フレンドシップあさひカウンセラーの働きを担う

■ 稲垣千世 教授

- 1月17日 ひばりが丘教会牧師就任式執行
- 神学校において図書館長の働きを担う
- その他ひばりが丘教会牧師としての執務執行

■ 菅原裕治 教授

- 日本聖公会管区共通聖職試験委員会委員長を継続(2021年度春期春期試験を監修)
- 日本聖公会東京教区第138定期教区会書記担当
- 聖パトリック教会牧師・八王子復活教会管理牧師としての執務執行
- 神学校において評議員の働きを担う

■ 古谷 正仁 教授

- 9月13日 日本基督教団武蔵野横須賀伝道所柴田安子牧師就任式司式
- 10月2日 青山学院横浜英和中1教会見学にて講演
- 10月16日、23日 青山学院横浜英和小1教会見学にて講演
- 11月3日 日本基督教団秦野教会問安
- 11月8日 日本基督教団まぶね教会林巖雄牧師就任式司式
- 11月14日 神奈川教区宣教方策会議出席
- 11月22日 日本基督教団小田原教会豊田通信牧師就任式司式
- 11月29日 日本基督教団茅ヶ崎平和教会山田恵子牧師就任式司式
- 3月3日 日本基督教団本宮教会問安
- 日本基督教団蒔田教会牧師としての教務遂行。日本基督教団神奈川教区総会副議長としての教務遂行。日本聖書神学校人事委員としての業務遂行。社会福祉法人日本水上学園理事としての業務遂行。学校法人元住吉こぼと幼稚園理事としての業務遂行。学校法人横浜英和学院評議員としての業務遂行

■ 柳下 明子 教授／教務部長代行

- 「本の広場」10月号
- 「東京YWCA」12月号メッセージ
- 日本基督教団四谷新生教会、宿河原教会などで奉仕。
- 神学校において評議員、理事、図書館運用委員の働きを担う

図書館からのお知らせ

寄贈者一覧は今号より割愛させていただきます。図書館長